

倉敷中央看護専門学校 自己点検・自己評価結果（令和4年度）

1. 目的

本校の看護教育の充実に向けて、自己点検・自己評価を行い、学校運営・教育活動の改善・維持・発展の活動を推進する。

2. 自己点検・自己評価の流れ

1) 厚生労働省「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」を参照し、本校の教育理念・目的等に沿って（125の視点）自己点検・自己評価の項目を設定する。

[9カテゴリー]

- I 教育理念・教育目的
- II 教育目標
- III 教育課程経営
- IV 教授・学習・評価過程
- V 経営・管理過程
- VI 入学
- VII 卒業・就業・進学
- VIII 地域社会/国際交流
- IX 研究

2) 教職員が担当別に自己点検・自己評価し、自己点検・自己評価会議で結果の分析・改善点を明らかにする。

3. 令和4年度 倉敷中央看護専門学校 自己点検・自己評価結果

9カテゴリー（67項目 125の視点）

評価基準 3（当てはまる）

2（やや当てはまる）

1（当てはまらない）



カテゴリ	評価点	概要
I 教育理念 教育目的	2.9	令和4年度より新カリキュラムが開始され、教育目的・教育目標・ディプロマポリシー (DP)・カリキュラムポリシー (CP)・アドミッションポリシー (AP) を策定し運用した。これらは学生にその都度ガイダンスを行っているが、学生による学校評価結果から教育目標の周知については検討の必要がある。
II 教育目標	3.0	
III 教育課程 経営	2.9	新カリキュラム運用では、教職員・講師と情報共有を行い、共通理解をしながら進めた。改正のポイントとなった基礎分野、地域・在宅看護論、臨床判断の基礎的能力の育成については目的に応じた科目となった。臨地実習は COVID-19 の影響で一部学内実習とした領域もあったが、実習施設の協力のもと全ての単位が認定された。教育課程の評価については体系的な評価の仕組みを作り、定期的にカリキュラム評価を行い運用した。
IV 教授・学習・ 評価過程	2.9	授業は学生が基礎知識を活用し思考できるよう、また主体的に学べるようアクティブラーニング等授業形態を工夫している。グループ活動では各チューターが学習を促進できるように支援した。授業概要については、学習の指針となるよう学生への動機付けや支援が必要である。
V 経営・管理 過程	2.5	自己点検・自己評価、学校関係者評価と経営計画・カリキュラム評価等が関連して行えるように整備した。校舎移転後の2年目施設点検を行い、学習環境と安全性を重視して改善した。情報公開については、自己点検・自己評価結果の公表やインスタグラムの開設などによって拡大できた。来校型オープンスクールは再開できたが、情報発信の内容やタイムリーさについては検討の必要がある。学生支援としては担任・ゼミナール・カウンセリングなど対応しているが、倫理指針を明確にした学生対応の仕組み作りも必要である。また高等教育の修学支援新制度確認校に認定され、令和5年度から制度の運用を開始する。
VI 入学	2.5	社会の変化と共に受験生確保が困難な状況にあり、受験生の背景、入学試験結果等を分析し、募集活動や選抜方法の変更を予定している。
VII 卒業・就業・ 進学	2.5	個別面談・個別学習支援を強化し、国家試験合格率は100%であった。卒後の進路は、倉敷中央病院への就職は91%、他は希望の就職・進学先に進んだ。卒業生の対応については、ホームカミングデイの実施や個別支援を行った。
VIII 地域社会 国際交流	1.9	地域・在宅看護論のフィールドワークやボランティア活動に参加できた。
IX 研究	2.7	「看護教員の学生との対話における実習指導の実際」に取り組んだ。

4.学校関係者評価委員会（令和5年6月21日）開催

1) 学校関係者評価委員

鉄川 大健様：非常勤講師（担当：人間関係論、文化人類学）

松本 道子様：社会福祉法人三和会 三和保育園 副園長

高村 洋子様：倉敷中央病院 副院長 看護本部看護本部長

小野 直美様：倉敷中央病院 看護本部看護副本部長

山下 奈央様：倉敷中央病院 看護師長

藤本 哲也様：卒業生

石川 なな様：卒業生

2) 委員からのご意見

- ・本校の卒業生は自己の傾向を把握していること、患者のニーズを捉え看護を実践している者が多い。
- ・丁寧に教育活動を行っているが、与えられた課題に留まらず、学生自らが目標を見出し、自己成長できると良い。
- ・基礎的な知識をどのように看護に活かせるのか、学習の仕方や調べ方を身につけておけると良い。
- ・看護の役割も変化しているため、多職種との連携など視野が広がる体験をしておくが良い。
- ・看護としての専門的な学習だけではなく、社会人基礎力の育成を強化する必要がある。
- ・学生募集については学校が伝えたい事だけではなく、対象者のニーズを把握しそれに沿った発信をしていく必要がある。また、倉敷中央病院を母体としており、教育や学習環境が整っていること、就職後もキャリアを積み成長できる事などの強みがあることも発信していくと良い。

以上